

福島諭「記譜,そして,呼吸する時間」

福島諭

会場：岐阜県美術館 [展示室2]

会期：2022年7月5日(火)－9月11日(日)

開館時間：10:00～18:00 [入場は17:30まで]

休館日：月曜日[祝日の場合はその翌平日], 臨時休館[7月23日(土)－7月29日(金)]

夜間開館日：2022年7月15日(金), 8月19日(金)は20:00まで開館 [入場は19:30まで]

観覧料：一般340円(280円), 大学生220円(160円), 高校生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金



クレジット

コラボレーター：濱地潤一 遠藤龍 原田和馬 gp

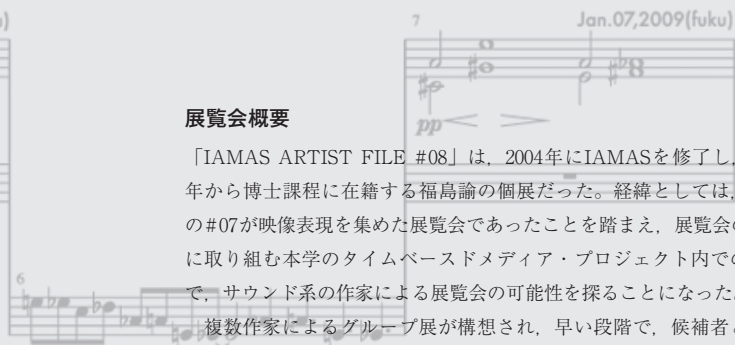
主催：岐阜県美術館, 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

協力：IAMAS タイムベースドメディア・プロジェクト 山田聡 樋口聡一郎 森田明日香 宮崎那奈子 林晃世 林暢彦

展示空間デザイン/スピーカーオブジェクト開発：高橋悠 (Tangent Design Inc.)

広報デザイン：岡澤理奈

企画：西山恒彦(岐阜県美術館) 前田真二郎・三輪眞弘(IAMAS)

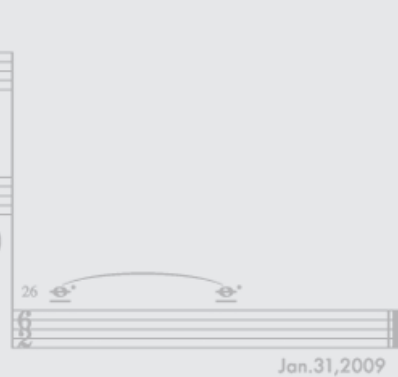
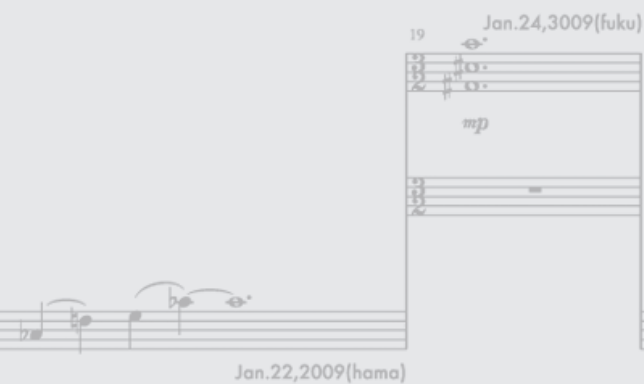
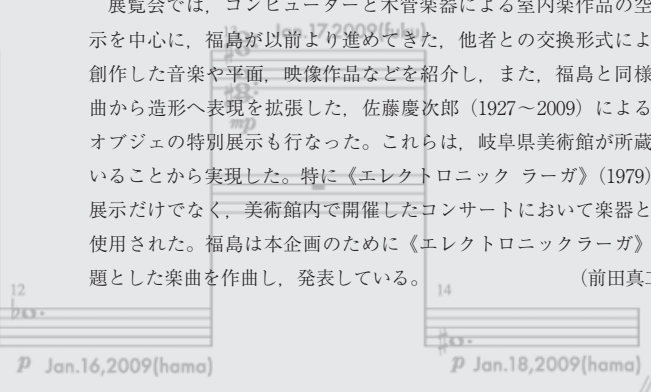


展覧会概要

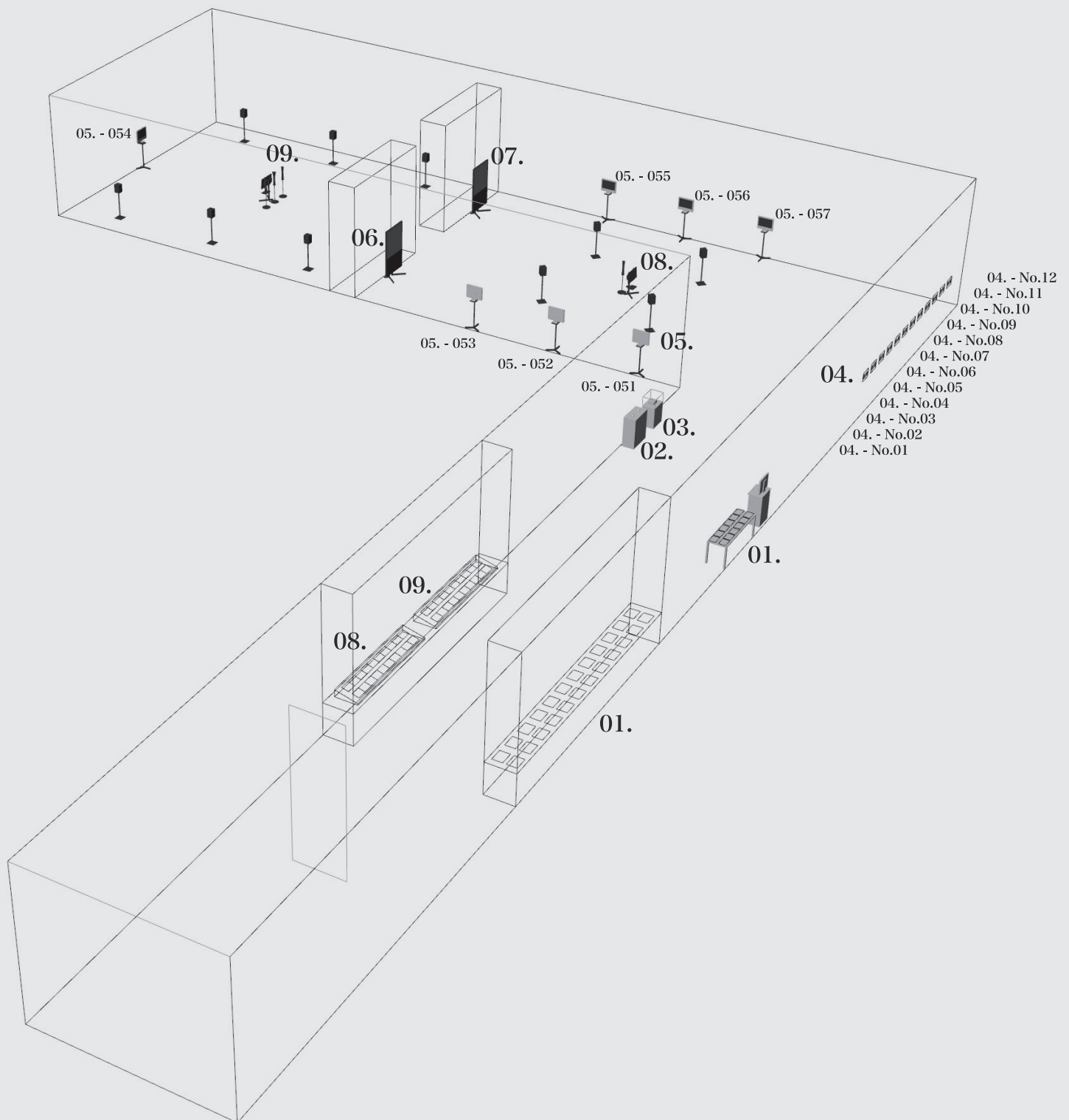
「IAMAS ARTIST FILE #08」は、2004年にIAMASを修了し、2021年から博士課程に在籍する福島諭の個展だった。経緯としては、前回の#07が映像表現を集めた展覧会であったことを踏まえ、展覧会の企画に取り組む本学のタイムベースドメディア・プロジェクト内での会議で、サウンド系の作家による展覧会の可能性を探ることになった。

複数作家によるグループ展が構想され、早い段階で、候補者として福島諭の名前が上がった。そして、その他の候補について、組み合わせや空間構成なども考慮しながら検討を進めたのだが、人選は容易ではなかった。むしろ、福島諭の個展が相応しいということになった。

展覧会では、コンピューターと木管楽器による室内楽作品の空間展示を中心に、福島が以前より進めてきた、他者との交換形式によって創作した音楽や平面、映像作品などを紹介し、また、福島と同様に作曲から造形へ表現を拡張した、佐藤慶次郎（1927～2009）による電子オブジェの特別展示も行なった。これらは、岐阜県美術館が所蔵していることから実現した。特に《エレクトロニック ラーガ》（1979）は、展示だけでなく、美術館内で開催したコンサートにおいて楽器として使用された。福島は本企画のために《エレクトロニックラーガ》を主題とした楽曲を作曲し、発表している。（前田真二郎）



会場レイアウト



福島 諭 | Satoshi Fukushima

1977年新潟生まれ。作曲家。情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 修了。現在、博士後期課程在籍。

2002年よりリアルタイムなコンピュータ処理と演奏者との対話的な関係によって成立する作曲作品を発表。また、即興演奏とコンピュータによる独自のセッションを試みるバンドMimiz (みみづ) のメンバー。濱地潤一との共同作曲による室内楽作品《変容の対象》を2009年から継続。近年は、共同制作のあり方を音楽以外の表現へ拡張している。2016年G.F.G.S.レーベルよりCD「福島諭:室内楽2011-2015」をリリース。日本電子音楽協会理事。作曲を三輪眞弘に師事。主な賞歴として、2014年第18回文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞、2017年「坂本龍一 | 設置音楽コンテスト」佳作など。

01. 変容の対象 2009 - 2020

(2009-2020) 楽譜 (紙 / データ / web)

制作 | 濱地潤一 + 福島諭

○作品規則

- (0) ひと月に1曲の小品を作曲し1年間の12曲をひとつの組曲とする。
- (1) 楽器は福島諭がピアノ、濱地潤一がサクソフォンを担当する。
- (2) 五線譜を使用して各楽器を交互に作曲していく。相手の書いた最新の小節に対して自分の楽器パートを書き込むことができ、次に続くもう1小節を新たに書き加えることで最大2小節の作曲を毎回行うことができる。
- (3) 自分が新たに書き加える小節の拍子、テンポは任意に変更できる。楽譜に記入していく。
- (4) 作曲した小節は相手に渡した時点で固定され後に削除／変更はできない。
- (5) 月の最初の1小節目を書く者は月ごとに交代する。また、各年の最初に書く者も年ごとに交代する。(よって12月と次の1月は同じ者が担当することになる。)

04. 並列画像 No.01 - No.12

No.01 e_211031 f_211120

No.02 e_211127 f_211126

No.03 e_211212 f_211229

No.04 e_220101 f_220101

No.05 f_220126 e_220103

No.06 f_220129 e_220208

No.07 f_220211 e_220210

No.08 f_220218 e_220223

No.09 e_220225 f_220313

No.10 e_220406 f_220325

No.11 f_220507 e_220417

No.12 f_220507 e_220523

(2021-2022) 写真

制作 | 遠藤 龍 + 福島 諭

写真プリント | 遠藤 龍

○作品規則

- ・正方形の静止画データ (3000pixel×3000pixel) を用いる。
- ・左右に配置される正方形の空間があるとする。
- ・2名のうちどちらか一方が、左右の指定と共に静止画データを提出する。
- ・もう一方が残りの空間に静止画データを提出する。

05. Twill The Light (051-057)

(2018) ムービー MP4 (H.264) 1'00"

写真データ, ヴィジュアル プログラミング | 福島 諭

音響 | gp (濱地潤一 + 飛谷謙介 + 福島諭)

06. 20211001-
(2021-) ムービー HEVC (H.265) 3'10"
制作|遠藤龍 + 福島諭
スライド制作|遠藤龍
○作品規則
・正方形の静止画データ(3000pixel×3000pixel)を用いる。
・どちらかが最初に提示した静止画データに対して一方が何らかの処理を加え返答する。
・期限を無期限として続ける。
07. No.1 20211120 - 1128
No.2 20211201 - 1210
No.3 20211211 - 1226
No.4 20211227 - 20220110
No.5 20220111 - 0125
No.6 20220126 - 0210
No.7 20220211 - 0316
No.8 20220319 - 0416
No.9 20220418 - 0525
(2021-2022) ムービー HEVC (H.265) 10'26"
制作|原田和馬 + 福島諭
スライド制作|原田和馬
○作品規則
・正方形の静止画データ(3000pixel×3000pixel)を用いる。
・どちらかが最初に提示した静止画データに対して一方が何らかの処理を加え返答する。
・互いに確認し合意の上でやり取りを完結する。
08. 設置音楽《patrinia yellow》for clarinet and computer (2022)
コンピューター / 再生プログラム / 4つのスピーカー / オーディオ・インターフェイス / 1つのスピーカーオブジェクト
11'00" (毎時0分, 30分, 45分より再生開始)
作曲|福島 諭
音源|鈴木 生子(クラリネット)
スピーカーオブジェクト|高橋 悠(Tangent Design Inc.)
2014年 第18回文化庁メディア芸術祭 アート部門 優秀賞
09. 設置音楽《春, 十五葉》
~五管の木管アンサンブルとコンピュータのための~
(2022)
コンピューター / 再生プログラム / 6つのスピーカ / オーディオ・インターフェイス / 3つのスピーカーオブジェクト
15'00" (毎時15分, 45分より再生開始)

作曲|福島 諭
音源|鈴木 生子(クラリネット), 伊藤 めぐみ(クラリネット), 櫻田 はるか(クラリネット), 山口 裕加(オーボエ), 濱地 潤一(アルトサクソフォン)
スピーカーオブジェクト|高橋 悠(Tangent Design Inc.)

特別展示

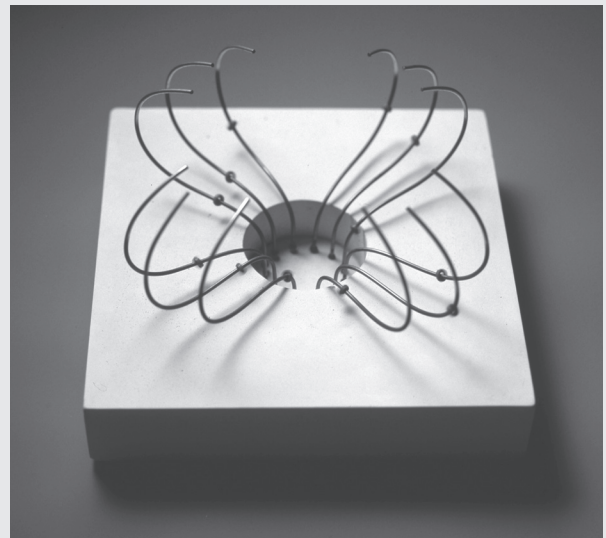
02. エレクトロニック ラーガ (1979)
佐藤 慶次郎 (1927-2009) 岐阜県美術館所蔵
佐藤慶次郎がオブジェ制作へ向かう契機となった作品である。上部に設置された2つのマウンド状の金属部に両手で触れることで音階を発する。

03. 花開(1974)
佐藤 慶次郎 (1927-2009) 岐阜県美術館所蔵
1974年に制作された佐藤慶次郎の電子オブジェ。正方形の石膏の台座から12本の軸が花を模した形で展開し、各軸にはひとつずつ素子となるマグネットリングが備えられている。

関連プログラム

福島諭アーティストトーク
ゲスト: 桑原ゆう (作曲家)
日時: 7月17日 (日) 14:00-15:30

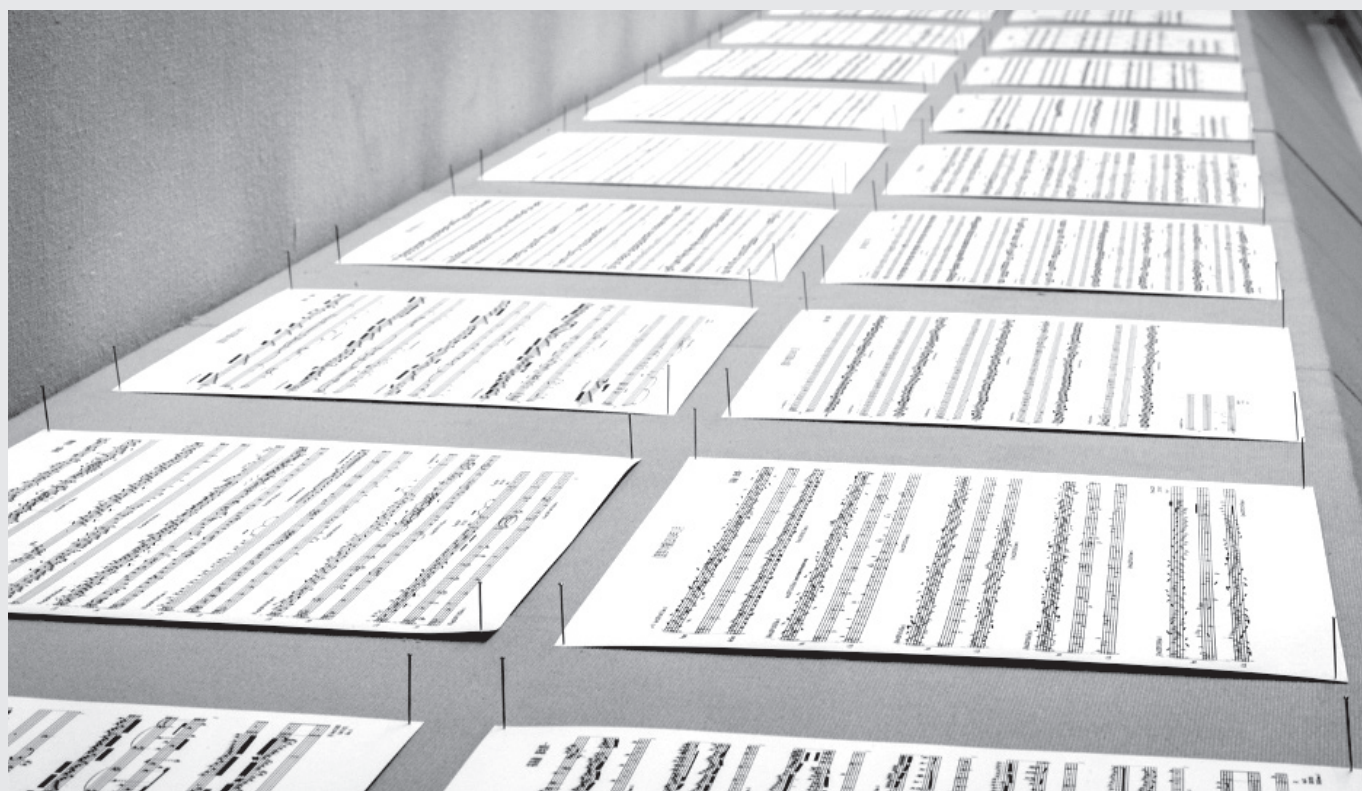
コンサート「エレクトロニック ラーガのための室内楽」
出演: 福島諭 福島麗秋 濱地潤一 飛谷謙介 (Mimiz)
ゲスト: 石川喜一 (ピアノ調律師・美術家)
《エレクトロニック ラーガ》(佐藤慶次郎, 1979年, 岐阜県美術館所蔵) を演奏。(石川喜一氏のミニレクチャー有り)
日時: 8月28日 (日) 14:00-15:30



佐藤 慶次郎《花開》(1974), 岐阜県美術館蔵
写真提供: 岐阜県美術館



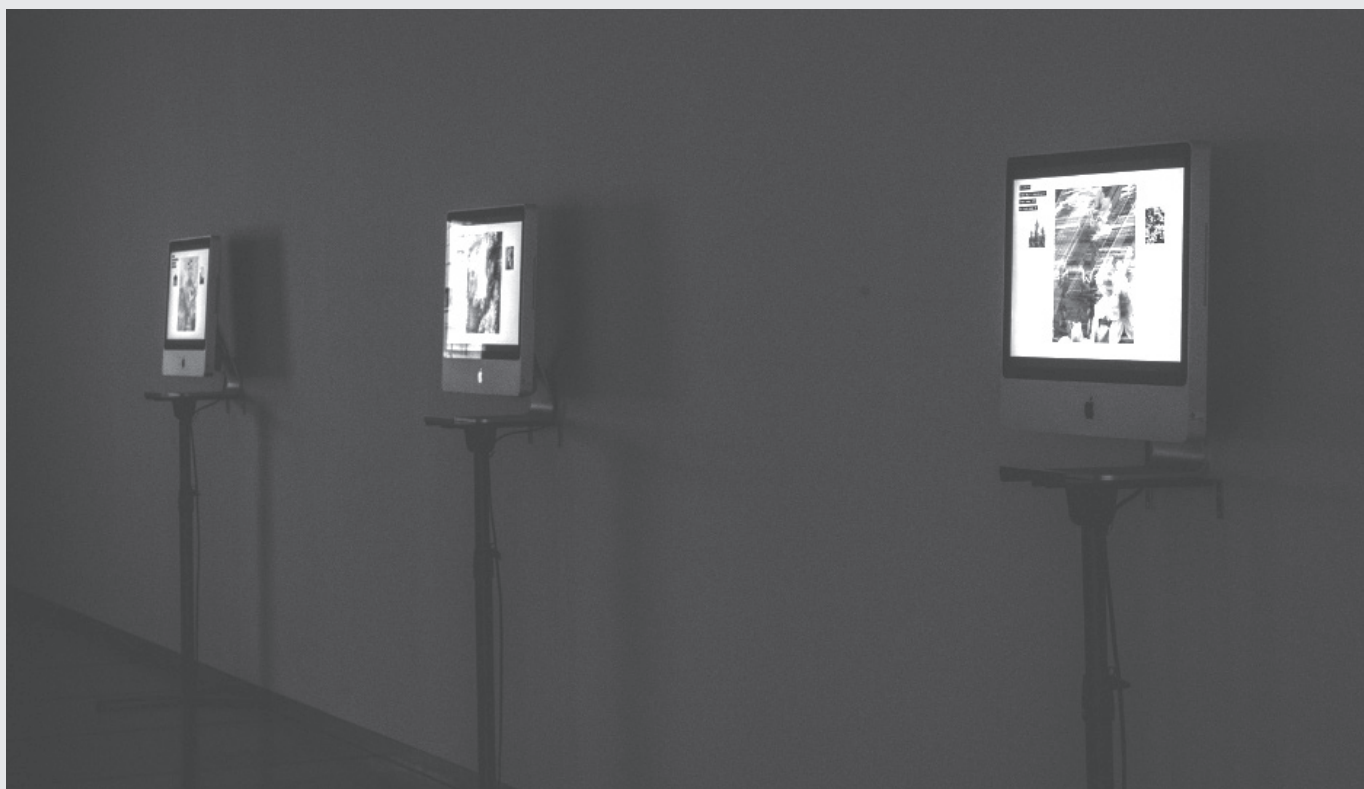
特別展示：佐藤慶次郎《エレクトロニック ラーガ》(左)《花開》(右)



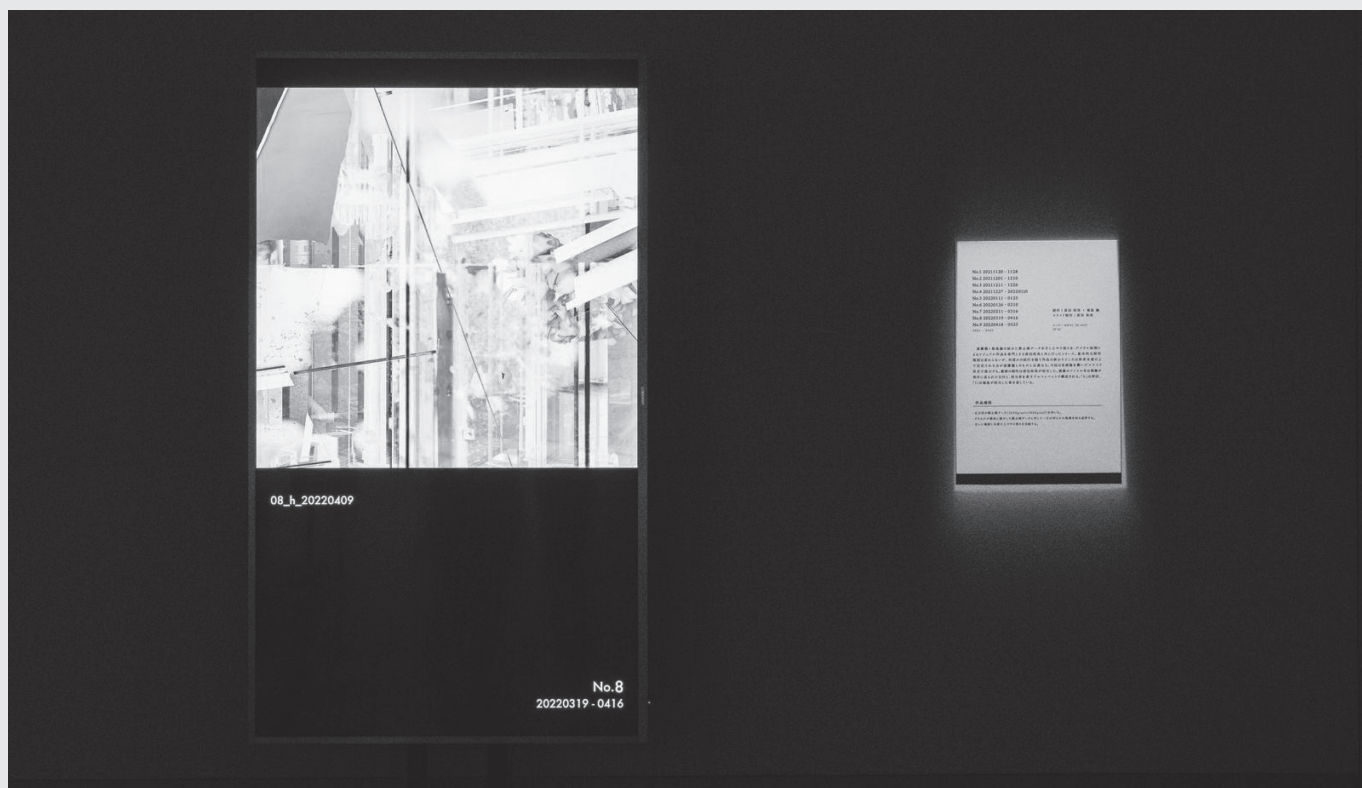
変容の対象 2009-2020 (2009-2020) 楽譜 制作 | 濱地潤一 + 福島諭



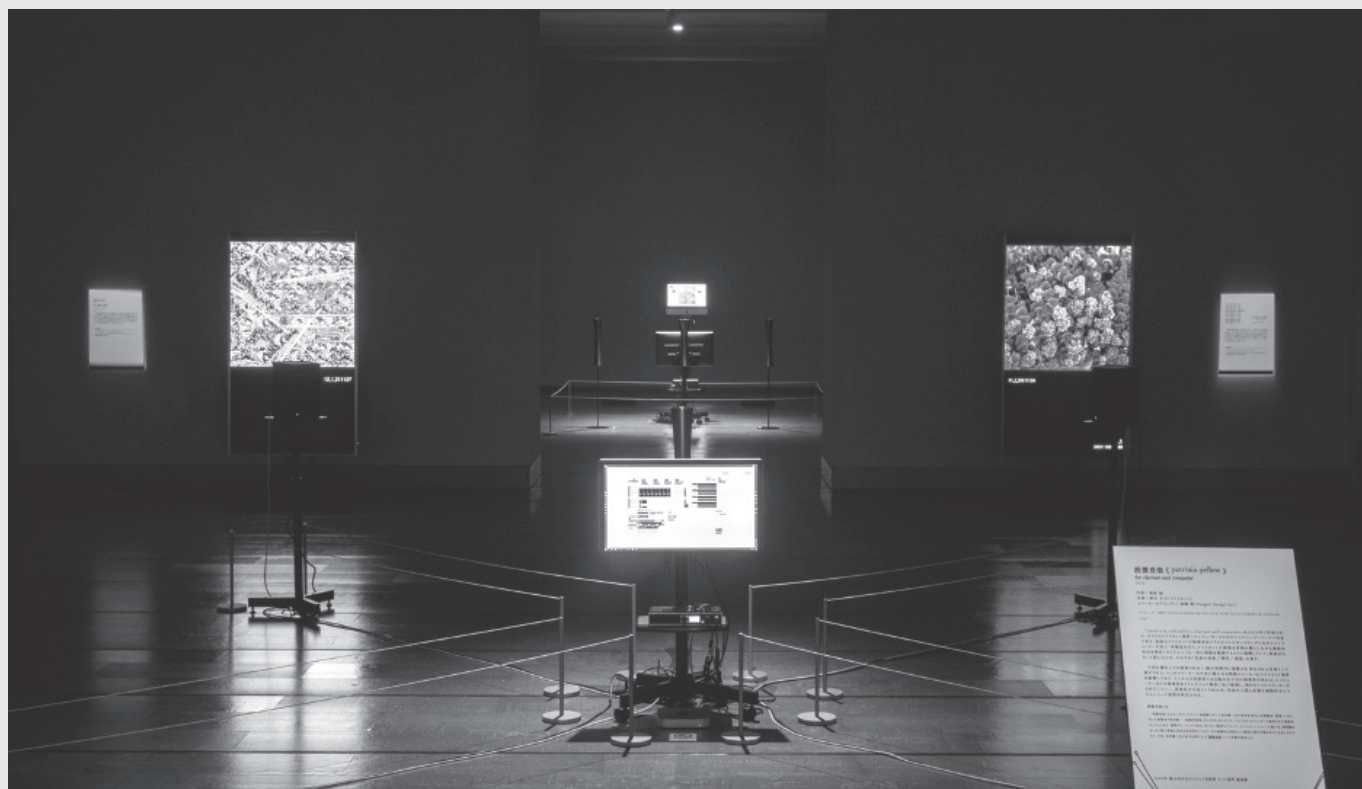
並列画像 No.01-No.12 (2021-2022) 写真制作 | 遠藤龍 + 福島諭 写真プリント | 遠藤龍



Twill The Light (2018) 写真データ, ヴィジュアル プログラミング | 福島諭 音響 | gp (濱地潤一 + 飛谷謙介 + 福島諭)



No.1 - No.9 (2021-2022) 制作 | 原田和馬 + 福島諭 スライド制作 | 原田 和馬



設置音楽《patrinia yellow》for clarinet and computer (2022) 作曲 | 福島諭